

## 大館圏域産業祭

第25回大館圏域産業祭は10月21、22の2日間、大館市のニプロハチ公ドームで開かれる。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、これまでの感染拡大防止対策を緩和。ほぼ制限がなくなり、コロナ禍前と同じ規模で通常開催するのは2018年度以来5年ぶりとなる。

# 5年ぶり通常開催 起業者紹介の企画も

10月21、22日

市や大館商工会議所、JAあきた北などで行く運営委員会(委員長・福原淳嗣市長)が主催。2019〜21年度の3年間は、県種苗交換会の大館開催やコロナ禍で休止した。4年ぶりに再開した22年度は3密を避ける目的で入場者数や飲食できるスペースを制限。農業展などの規模を縮小するなどしていた。

今回は、検温や手指消毒を除き、コロナ禍の制限をほぼ撤廃する。コンセプトは「地域の活力を未来へ」。同市生まれの秋田犬・ハチ公が生誕100年と重なることから、記念の産業祭と位置付けた。

恒例の商工展、農業展、産業教育展などを予定している。新たな試みとして起業者を応援しようと、活動紹介コーナーを企画展の中に設置する。

出展はキャンプ用品の「ガチーゼアウトドア」、洋菓子販売「パティスリーメッスナー」、写真撮影「masa」の3社。

商工展の展示部門には24の企業・団体が参加。自慢の商

品やサービスをPRする。飲食部門は焼き鳥やスイーツなどの14店、工芸品などを扱う物販部門は19店・団体がブースを設ける。

農業展は農林産物共進会、学校農園展、園児や児童の図画・書写展、野菜の重さ当てクイズ、餅つきなどを予定。産業教育展は職業能力開発短大や秋田看護福祉大、圏域小中学校・高校の展示販売、スタンプラリー、ミニ鉄道運行が行われる。

ステージ出演は初日がエゾタンポポ体操と鳳凰太鼓の長木小(午前11時)をはじめ、フラや落語、ハーモニカ演奏。最終日は大館ハチ公バンド演奏(午前9時15分)を皮切りにゴスペル音楽、大館桂桜高フアッションショー、ヒーローショーとまとい振り、農業表彰式を予定している。開会は両日とも午前9時。初日は午後4時まで、最終日は3時まで。